

作成日：2005年04月01日

改訂日：2021年11月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ステアロイル乳酸ナトリウム
会社名	株式会社武蔵野化学研究所
本社	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
担当部門	品質保証室
連絡先	電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146
整理番号	L04-02

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
水生環境有害性（急性）	区分2
水生環境有害性（長期間）	区分3

GHSラベル

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

強い眼刺激

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用 すること。

取扱後は製品に触れた部分をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

応急措置

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。

廃棄

内容物／容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名または一般名	ステアロイル乳酸ナトリウム（慣用）
成分及び含有量	本品は、ステアリン酸を主体とする脂肪酸の乳酸類（重縮合乳酸を含む）とのエステル化物のナトリウム塩と、これに関連する遊離の酸類およびナトリウム塩類からなる混成物である。
官報公示整理番号	(7)-2115 ((7)-2113 等を含む) (化審法)
安衛法番号	2-(4)-74
CAS No.	25383-99-7, 18200-72-1
TSCA	登録有り
EINECS	246-929-7
輸出統計品目	2918.11-900
輸入統計品目	2918.11-000
備考	ステアリン酸ナトリウムは通知対象物である。

4. 応急措置
- 皮膚に付着した場合 融解時以外は問題ないが、石鹼で洗う。
 眼に入った場合 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちに外す。
- 吸入した場合 すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。
 誤飲した場合 すみやかに医師の手当を受ける。
5. 火災時の措置
- 消火剤 粉末(ABC)消火器、泡消火器
 火災時の特定危険有害性 燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒物を含む可能性があるため、吸入しないよう、注意する。
 特定の消火方法 火元への燃焼源を絶ち、少量時は水をかける。大量時は消火剤を使用し、消火する。水消火も効果的である。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 保護メガネ、作業衣、ゴム手袋またはビニル手袋を着用する。
 環境に対する注意事項 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
 除去方法 冷却し、固化させて、次の処置を行う。
 漏出部分からはがれているときは、回収する。固着時は、はがして取る。なお、付着している部分は、削り取り、その後、溶剤で拭き取る。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
 技術的対策 取り扱い場所の近くに、洗眼及びシャワー設備を設置する。
 注意事項 吸湿性があるので湿気に注意して取り扱う。
 安全取扱い注意事項 融解した本品が、熱時、皮膚等に付いたとき、火傷の恐れがあるので注意する。
- 保管
 適切な保管条件 遮光した密閉容器にて、常温で保管する。
 安全な容器包装材料 ポリエチレン等の樹脂系容器
8. ばく露防止及び保護措置
- 設備対策 取り扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
 保護具 保護メガネ、保護手袋（ゴム製等）、作業衣
9. 物理的及び化学的性質
- 物理的状态
 性状 白～淡黄色の固体で、わずかに特異なにおいがある。
 物理的状态が変化する特定の温度
 融点 35～50℃
 引火点 235℃（クリーブランド開放式）
 燃焼熱 31,400 J/g
 爆発特性 該当せず
 比重 融解時(60～100℃)約 1.0
 溶解性
 溶媒に対する溶解性 水 : 難溶
 その他 : エタノールに可溶
10. 安定性及び反応性
- 安定性 吸湿し、徐々に加水分解される。
 反応性 水中に長く置くと、加水分解を起こし、脂肪酸が遊離する。
 避けるべき条件 裸火、過熱、高湿度
 混触危険物質 強酸化性物質
 危険有害な分解生成物 一酸化炭素

1 1. 有害性情報

急性毒性 LD₅₀ 25000 mg/kg (ラット)
局所効果 データ無し
刺激性 無し (ウサギ、eye)

1 2. 環境影響情報

残留性/分解性 分解性良好

1 3. 廃棄上の注意

可燃物と混合して、焼却処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制 特に無し
その他 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。
運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
高温および冠水を避ける。

1 5. 適用法令

医薬品医療機器等法 医薬部外品

※ステアリン酸ナトリウムについて

労働安全衛生法 第57条の2 (通知対象物)
施行令第18条 (名称等を表示すべき危険物及び有害物)
施行令第18条の2 (名称等を通知すべき危険物及び有害物)
施行令別表第9 (名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物)

1 6. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 2) 社内資料
- 3) Drug & Cosmetic Ind. 122(5), 35~ (1978)

【問い合わせ先】

・記載内容の問い合わせ先	・運送中の問い合わせ先
株式会社武蔵野化学研究所	株式会社武蔵野化学研究所
営業本部	磯原工場 業務部
電話番号 03-6810-0242	電話番号 0293-42-1147(代)
FAX番号 03-6810-0148	FAX番号 0293-42-1185

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常 of 取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意ください。